

# 令和4年度 事務事業評価シート（1）

## [ 令和3年度事務事業 ]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	スポーツ推進事業			事業番号	008-091
担当部署名	文化観光	局	スポーツ	部	スポーツ推進課

### I. 基本情報

#### 事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(7) 生涯にわたる多彩なスポーツライフの実現	
		有	取組の方向性	①スポーツ・運動習慣定着による健康増進				
		寄与するKPI	有・無	指標名	スポーツ・運動習慣者割合（1回30分以上の運動を週2回以上行う者）			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.4	
		有	取組	スポーツ・運動習慣定着による健康増進				
		寄与するKPI	有・無	指標名	健康寿命			
有	現状値	男性：71.46年、女性：73.60年(2016年度)	目標値	男性：73.20年、女性：76.20年(2023年)				

2	関連計画	堺市スポーツ推進プラン		
3	事業開始年度	昭和 22 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠（根拠法令、条例等）	スポーツ基本法、堺市スポーツ推進委員に関する規則		

#### 事業の概要

5	事業の実施主体（実施主体となる団体等）	本庁、堺市教育スポーツ振興事業団、総合型地域スポーツクラブ、地域団体				
6	事業の対象（対象とする人や物、対象数）	市民、スポーツ推進委員(約120人)	対象数	約830,000	単位	人
7	事業の目的（事業実施によりめざす状態）	ライフスタイルに応じて、年齢や性別、国籍、障害の有無にかかわらず、すべての人が生涯にわたりスポーツを身近なものとして親しむことができ、豊かで健やかな生活を過ごせる地域社会の実現				
8	事業内容（目的を達成するための手段） ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<p>①総合型地域スポーツクラブ 地域で多様な運動・スポーツを楽しむ環境を創出するためには、キーパーソンとなる人材や指導者の確保、運営ノウハウが必要であり、新たなクラブの創設支援及び既存クラブの活動拡大や安定した運営体制の構築を支援。</p> <p>②堺市民オリンピック 市民スポーツの祭典として、市民の健康増進、体力の向上、スポーツマンシップの向上を図ることを目的に、毎年スポーツの日に実施。令和3年度は新型コロナウイルス感染症のため中止し、代替イベントとして、親子を対象にトップレベルチームによるスポーツ教室「親子で!エンジョイスポーツフェスタ」を令和3年10月31日（日）に実施。</p> <p>③トップレベルチームとの連携 堺プレイザーズ、オリックスバファローズ、セレッソ大阪等のトップレベルチームと連携し、総合型地域スポーツクラブ等が実施するスポーツ教室に講師を派遣。また、市民がトップレベルのスポーツに触れる機会を提供するため、各チームの公式戦において、市民優待観戦企画を実施。</p> <p>④スポーツ推進委員 地域のスポーツ推進の中心的存在として実技指導や助言を行っており、その資質向上を図るため、各種研修や主催大会を実施。</p> <p>⑤大規模スポーツイベント 東京オリンピック聖火リレー実施やパラリンピック事前合宿の受け入れ及びワールドマスターズゲームズ関西2021の開催準備。 ※聖火リレーは万博公園での代替開催、事前合宿は中止、ワールドマスターズゲームズは再延期が決定。</p>				
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	（公財）堺市教育スポーツ振興事業団、堺市民オリンピック委員会、総合型地域スポーツクラブ				
10	公民連携・協働事業	総合型地域スポーツクラブによる地域スポーツ活動の実施、トップレベルチームとの連携によるスポーツ教室の開催				

### II. 事業目的の達成状況

#### 事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		目標	目標	点検年度	
	堺市民オリンピック参加者数	人	令和2年度	7,000	令和3年度	7,000	令和4年度	7,000
			目標値	7,000	7,000	7,000	7,000	
			実績値	中止	中止			
達成率	—	—						
当該指標を選定した理由		市内全域を対象としてスポーツを通じた地域交流の場となっている本イベントの参加者数は地域スポーツ活動の状況を示す指標となるため（令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）						
目標値の設定根拠・算出方法		市の人口が減少傾向にあることを考慮し、参加者数の維持を目標とする。						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標			
	総合型地域スポーツクラブ会員数（設立準備団体含む）	人	令和2年度	500	令和3年度	700	令和4年度	700
			目標値	500	700	700		
			実績値	402	495			
達成率	80%	71%						
当該指標を選定した理由		幅広い年代の市民が身近な地域でスポーツに親しむことができるクラブであり、会員数は習慣的に運動を行う市民が増加していることを示す指標となるため						
目標値の設定根拠・算出方法		各区1クラブの設置をめざし、安定的運営のため各クラブ100人の会員獲得を目標とする。（7クラブ×100人）						

## 令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	スポーツ推進事業	事業番号	008-091
-------	----------	------	---------

### Ⅲ. 投入量

#### 事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度	
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算	
事業費 (a)	113,021	51,181	80,120	52,993	76,022	
13 財源内訳	国支出金				1,280	
	府支出金				0	
	市債				0	
	その他（日本スポーツ振興センター助成金、基金繰入金）	42,365	1,696	33,564	13,324	29,640
	受益者負担金(使用料、手数料等)					0
一般財源	70,656	49,485	46,556	39,669	45,102	
14 人件費 (b)	24,300	24,600	28,800	28,800	49,200	
15 年間経費(c)=(a)+(b)	137,321	75,781	108,920	81,793	125,222	

#### 事業費の内訳

（単位：千円）

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源
堺市民オリンピック開催負担金(コロナ対策費含む)	R4 予算	31,198	31,198	総合型地域スポーツクラブ運営・創設支援補助金	R4 予算	3,000	0
堺ブレイザーズ市章等掲載料	R3 決算	0	0	新大浜体育館魅力創出事業	R3 決算	4,524	0
	R4 予算	15,280	0		R4 予算	5,184	0
セレッソ堺レディースユニフォーム市章掲載料	R3 決算	4,000	0	総合型地域スポーツクラブ推進ネットワーク負担金【拡充】	R3 決算	2,000	2,000
	R4 予算	4,000	0		R4 予算	2,000	2,000
堺市スポーツ協会事業補助金	R3 決算	3,000	0	その他	R3 決算	500	500
	R4 予算	3,000	0		R4 予算	1,000	1,000
堺市スポーツ協会事業補助金	R3 決算	10,596	10,596	その他	R3 決算	7,749	7,249
	R4 予算	3,303	3,303		R4 予算	8,057	7,601

### Ⅳ. 事業の効率性

#### 単位当たり経費

区分	単位	令和2年度	令和3年度
		① 市民オリンピック参加者数	人
② 上記①にかかる年間経費	千円	-	-
③ 単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位		
備考(算出についての説明等)			

### Ⅴ. 評価

#### 費用対効果に係る所見

- 18 ・総合型地域スポーツクラブ運営補助金は日本スポーツ振興センター助成金を100%充当して実施している。令和3年度は、補助対象の2クラブ（補助金額4,524千円）で計203回のスポーツ教室が開催され、延べ6,652人の参加があった。新型コロナウイルス感染症の影響でクラブの活動を休止せざるを得ない期間があったため、会員数は目標値に達しなかったが、助成金を100%活用した補助事業であり、費用対効果は高い。
- 19 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年度も堺市民オリンピックは中止。また、東京オリンピック・パラリンピック2020の事前合宿やワールドマスターズゲームズ関西など大規模イベントも中止・延期となり、経費支出がなかったことから費用対効果の分析はできない。しかしながら、コロナ禍において、運動・スポーツへの関心向上、魅力発信を行うため、スポーツ情報の発信強化、魅力向上のためTwitterの開設、民間助成金を活用した親子スポーツフェスタの実施などコストをかけずにできる取組みを行った。

#### KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

- ①総合型地域スポーツクラブ  
令和3年度は、市内各地域における総合型地域スポーツクラブの創設の可能性を調査するため、各校区のスポーツ推進委員にアンケート調査を実施した。創設の可能性のある地域については、スポーツ推進委員等を大阪府スポーツ協会主催の研修へ派遣し、人材育成を図った。総合型地域スポーツクラブの創設には、地域において制度理解とリーダーとなりうる人材が必要であり、令和4年度も引き続き、制度PRと人材育成を重点的に実施し、裾野を広げていく。
- ②堺市民オリンピック  
令和3年度は中止のため、令和4年度の大会開催に向けた検討を堺市民オリンピック委員会を中心に進め、令和4年度大会は一般参加可能なレクリエーションを試行的に実施する予定である。  
市内全校区が一室に会し、地域交流や日頃のスポーツ活動の成果を発表する機会となる堺市民オリンピックは、大会への参加が市民の日頃のスポーツ活動のモチベーションになりうるものであり、本大会が「参加したい」と思われるような魅力的な大会になるよう、試行実施するレクリエーションの結果検証を踏まえ、見直しを進める。
- ③トップレベルチームとの連携  
令和2年4月にリニューアルオープンした大浜体育館（だいしん大浜アリーナ）の魅力を広く内外に発信するため、ホームゲームを行う堺ブレイザーズと連携し、南海本線・堺駅への広告掲出や地元商店会の協力によるバナー、のぼりの掲出を実施した。  
公式戦での市民優待企画などを通じた観戦機会提供やスポーツ教室実施などが、市民のスポーツへの関心を高め、自らもスポーツに取り組むきっかけとなるよう、引き続き堺市ゆかりのトップレベルチームとの連携事業に取り組む。
- ⑤大規模スポーツイベント  
東京オリンピック聖火リレーの市内走行及びパラリンピックの事前合宿のホストタウン事業は中止となったが、新たに創設したTwitter等を活用し、大会に関する情報発信に努めた。とりわけ、日本人選手の活躍により注目を集めたスケートボードについては、原池公園のスケートボードパークの利用者が1.5倍に増加するなど、大規模スポーツイベントが市民のスポーツ活動に影響を与える効果があった。